

読者ひろば

戦争遺産残し 平和の使節に

高谷和生61

市民グループ

事務局長(玉名市)

平成25年5月から始まった熊日の連載「伝えたい 私の戦争」が3月で終わった。足掛け3年の長期連載、体験者127人の「命の証言」に、毎回心がうたれた。掲載された証言は、県内戦争遺産の検証や保護を進める本会として、既に聞き取った証言もあつ

たが、多くは初めてであった。南洋の島で旧軍兵士として死線をさまよった軍隊経験、旧満州などから敗戦時に国から遺棄されながらも引き揚げた経験など多岐に及んだ。あまりにも多くの県民が、戦争に翻弄された事実の重み、戦後復興の姿や平和へのメッセージを、戦争体験のない記者感性も併せて、読者に伝わった3年間であった。昨年夏の「戦後70年 つなげよう平和のバトン展」では、もの言わぬ多

くの戦時資料が展示された。「私の戦争」証言会で、肉声から平和への思いを感じとった。全国では空襲や戦災、過酷な戦争体験を記録し、それに関わった資料・遺品を展示し「未来へのメッセージ」として伝える平和資料館が数多くある。熊本で、これらの貴重な体験を語り継ぎ、遺品などを通して戦争と平和を考える資料館がつかれないものであろうか。

愛知県では市の既存建物を利用し、NPOと行政が連携し館の運営を行っている。岡山市では民間団体調査の成果を基にして空襲資料館が新幹線駅横に開館している。岐阜や宮崎県のようにホームページ上で紹介することも可能だ。これらの重く響く証言、関わる資料、熊本県内に残された戦争遺産を「平和の使節」として語り継ぐことが、今私たちの未来に向け大切なことではなからうか。

「読者ひろば」への一般投稿、若者コーナーは450字程度、主張・提言は600字程度。◇欄外に郵便番号、住所(アパート・マンション名も)、氏名、年齢、職業(無職の方は元職でも可)、電話番号を明記する◇趣旨を変えず文章を直すこともあります◇原稿は返却しません。二重投

投稿される方へ

稿、採否の理由等の問い合わせはお断りします。匿名は不採用。掲載分には薄謝を送ります。あて先は①郵送 〒860-8506、熊本市中央区世安町172、熊日「読者ひろば」係 ②ファクス 096(363)1268 ③Eメール hiroba@kumanichi.co.jp